

# KPI進捗管理票(令和7年6月末時点) ★は総合計画掲載のKPI

資料②

目指すべき姿	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R7年度6月末時点)				R7年度 中間実績値の分析、課題、今後の方針 (6月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R7	R8	R9	R10			
誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまちだと考える市民の割合	「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合	%	65.2	68.1	71.0	73.9	若年層や子育て世代で低くなる傾向が続いているが、今後もターゲットを明確にした分かりやすい情報発信や、小さい子どもと一緒に伝統文化芸術に触れる機会を確保するとともに、松江の文化力の魅力を実感できることが心の豊かさへ繋がるものと考える。	毎年+2%	文化スポーツ部
			—						

# KPI進捗管理票(令和7年6月末時点) ★は総合計画掲載のKPI

資料②

4つの課題	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R7年度6月末時点)				R7年度 中間実績値の分析、課題、今後の方針 (6月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R7	R8	R9	R10			
効果的な情報発信	松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4月～3月】	件	140,000 38,379	142,000	144,000	146,000	R5・6年度の同時期と比較すると、閲覧数は増加傾向にあり順調に推移している。	毎年+2,000件	文化スポーツ部
	松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4月～3月】	件	4,400 597	4,500	4,600	4,700	3ヶ月の実績値が、目標値の4分の1を大幅に下回っている。松江歴史館収蔵品データベースについて広く周知するための情報発信が必要である。	毎年+100件	文化スポーツ部
	★ 市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合	%	55 —	56.3	57.5	58.8	文字だけではなく、イラストやグラフ、表などの視覚的にわかりやすい手法を利用しながら、誰でもわかりやすい情報発信を行う。	毎年+1.25%	政策部
鑑賞・体験・学習の機会の確保	年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合	%	45 —	47	49	51	演劇やコンサート等の鑑賞が身近に感じられるよう、各公演やイベントについてSNS等を中心に効果的な情報発信を行い、きめ細かな情報提供が継続されることにより鑑賞習慣の醸成を図る。	毎年+2%	文化スポーツ部
	★ 歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】	人	120 93	120	120	120	R7年度6月末までに歴史のまち歩きを5回開催し、応募者総数は269人、参加者総数は93人であった。各回において、定員を上回る応募（需要）があるが、市主体で実施するまち歩きでは、受け入れ体制に限界があるため、公民館等の各地域主体のまち歩きの実施について、協力を求めていく必要がある。	20人×6回	文化スポーツ部
	★ 松江歴史館観覧者数【4月～3月】	人	54,000 11,564	55,500	57,000	58,500	4月から6月までの観覧者数の合計は昨年度と比較して減少した。6月末時点の入館者数は昨年度と比べ増加しているため、入館者を観覧につなげる広報等が必要である。	毎年+1,500人	文化スポーツ部
後継者・担い手育成	地域行事（お祭りや伝統文化など）に参加したことがある（中学生、高校生、大学生等）の割合	%	66 —	68	70	72	市への愛着を感じている度合いが高いほど、地域行事へ参加する割合が高いため、各地域の楽しいイベントや伝統文化に関連する情報など、松江の魅力を感じる情報発信を行っていき、郷土愛の醸成を図る。	毎年+2%	文化スポーツ部
	松江市文化協会加盟団体の構成員総数	人	5,800 5,703	5,800	5,800	5,800	加盟団体数は増加しているが、一部団体の構成が変更などが影響し、構成員総数が前年度より減少した。引き続き、加盟団体の発表や展示等の開催を支援し、文化活動の活性化を図るとともに、幅広い世代への文化協会加入促進を働きかける必要がある。	5,800人を維持	文化スポーツ部
資金確保	ふるさと納税受入額【4月～3月】	千円	600,000 66,635	600,000	600,000	600,000	寄附額が前年同期比で約114%と伸びており、返礼品の充実や返礼品画像の魅力度向上の取り組みの成果が出ている。	当該年毎に目標値を	産業経済部
	★ 観光入込客数（観光施設・イベントなどの入込客数／【1月～12月】）	万人	1,020 398	1,040	1,060	1,080	対前年微増で推移している。今秋から連続テレビ小説「ばけばけ」の放送が始まるため、好機を捉えてプロモーション等を強化し、誘客促進を図る必要がある。	毎年+20万人	観光部

# KPI進捗管理票(令和7年6月末時点) ★は総合計画掲載のKPI

資料②

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R7年度6月末時点)				R7年度 中間実績値の分析、課題、今後の方針 (6月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R7	R8	R9	R10			
 古代から近代までの豊富な文化財	国・県・市指定等文化財の新指定等件数	件	2	2	2	2	<今後の予定> ・国指定（史跡）出雲国山代郷遺跡群の追加指定 ・市指定文化財の指定	年2件以上の指定・追加指定	文化スポーツ部
	★ 松江城天守登閣数【4月～3月】	人	470,000 111,389	477,500	485,000	492,500	国外からのツアー観光客や、県内外からの修学旅行者や家族連れなど、団体での登閣者も多く見られ、少しずつ登閣者数が増えている。	R11年度の目標値500,000人に向け、段階的に設定	文化スポーツ部
 地域に根づく伝統文化	★ (小6) 今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	71 58.8	73	75	77	地域の行事や地域をフィールドにした学習の機会も充実し、参加児童の割合も増えている。このような学習・活動機会を確保していくことが必要である。今後も、地域にある教育資源（ひと・もの・こと）を生かしたふるさと教育に引き続き取り組むとともに、地域課題に対する考え方を持たせるような指導に取り組む。	毎年+2%	教育委員会
	★ (中3) 今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	54 52.4	56	58	60	地域行事への参加・参画の機会も増え、参加生徒の割合も増加傾向にある。地域の一員として、行事の運営に携わるような仕掛け（あるいは体制）をさらに構築することが必要である。地域にある教育資源（ひと・もの・こと）を生かしたふるさと教育に引き続き取り組むとともに、公民館等との連携によりボランティア参加を促し、地域課題に対する考え方を持たせるような指導に取り組む。	毎年+2%	教育委員会
	松江伝統芸能祭の観覧者数（2年に1回開催）	人	— —	500	—	500	R7年度は開催しないが、R8年度に向け、関係団体からの意見を取りまとめる。	隔年開催で500人を維持	文化スポーツ部
 市民生活に根づく茶の湯文化	4月24日は茶の湯の日だと知っている人の割合	%	37 41	39	41	43	R7年4月は、26日・27日にイオン松江SCにて「茶の湯イベント」を開催した。全体の参加者数は700名を超えた。アンケート項目の「4/24は茶の湯の日であることを知っている」という人の割合を集計すると4割を超える結果であったが、リピーターが増えてきたことも要因として考えられるため、その場でイベントに参加いただく新規の方々を増やし、さらに周知する必要がある。	毎年+2%	文化スポーツ部
	明々庵及び赤山茶道会館の入館・利用者数【4月～3月】	人	15,900 4,961	16,060	16,220	16,390	6月末時点の入館者数は前年比145.2%と増加している。インバウンドの増加や昨年の同時期に止まっていたTWILIGHT EXPRESS瑞風の催行が再開している事が影響していると思われる。	明々庵の入館者毎年+1.02% 赤山茶道会館は入館者維持	文化スポーツ部
 小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化	★ 多文化理解を促進する事業への参加者数【4月～3月】	人	2,400 427	2,600	2,800	3,000	出前講座の他、市主催の多文化理解講座などを実施しており、概ね順調に進んでいる。	毎年+200人	観光部
	小泉八雲記念館の入館者数【4月～3月】	人	100,000 27,949	100,000	100,000	100,000	6月末時点の入館者数は前年比123.4%と順調に推移している。このまま前年比120%を維持することで、目標値を上回る入館者が期待できる。	100,000人を維持	文化スポーツ部

# KPI進捗管理票(令和7年6月末時点) ★は総合計画掲載のKPI

資料②

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R7年度6月末時点)				R7年度 中間実績値の分析、課題、今後の方針 (6月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R7	R8	R9	R10			
 市民とともに育む 文化芸術活動	松江市民美術展来場者数	人	1,400	1,450	1,500	1,550	9月5日～8日に開催する第53回松江市民美術展の開催に向けて準備を進めている。出品者数と来場者数には正の相関があるため、昨年に引き続き大学生以下の出品料を無料とするほか、出品規格の見直しや、一部の部門では一人あたり2点まで出品可能とするなど出品者を増やすため取り組みを進めている。	毎年+50人	文化スポーツ部
	松江市文化協会加盟団体の団体数	団体	95	95	95	95	R6年度より1団体増と、目標団体数は維持しているものの、若い世代で構成される加盟団体は少ない。文化協会について、若者へ繋がりやすいSNS等による周知を図る必要がある。	95団体を維持	文化スポーツ部
	しいの実シアターの利用者数 【4月～3月】	人	5,300	3,000	3,000	5,300	今年度は森の演劇祭開催年であり、例年6月に実施している国内秀作公演の開催が無く、6月末時点では、前年比減となっている。森の演劇祭でより多くの方に利用いただけるよう準備を進めていただきたい。	森の演劇祭開催年は5,300人、それ以外の年は3,000人	文化スポーツ部
 伝統文化芸術の 拠点となる施設	★ プラバホール施設利用者数 【4月～3月】	人	104,000	108,000	112,000	116,000	昨年度の同時期より利用者数が減少している。引き続きプラバホールを身近な施設として愛着を感じられるよう、魅力の発信に努め、利用者増加につなげる。	R11年度の目標値 120,000人に向け、 段階的に設定	教育委員会
	出雲かんべの里利用者数 【4月～3月】	人	120,000	120,000	120,000	120,000	昨年度の同時期より利用者数が減少している。引き続き利用者増加に努める。 ・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 ・利用者数27,649人（民話館2,120人、工芸館23,839人、かんべ茶屋1,690人）	毎年120,000人	教育委員会
 宍道湖・堀川・中海等の 松江的景観	★ 水辺の公共空間活用日数 【4月～3月】	日	370	395	395	406	実績値は年度末に集計するため達成状況は不明だが、民間事業者による利活用が進んでいく状況である。 岸公園・白潟公園の河川空間のオープン化によって利活用の自由度が向上することから更なる活用日数が見込まれる。 水辺の公共空間の活用について、各所で賑わいが生まれているが、日常的な賑わいにはまだ繋がっていない。今後、河川空間をオープンの区域を広げ、民間事業者の活用が進み、水辺の公共空間が日常的に賑わうよう利用促進に取り組む必要がある。	湖畔公園整備事業 やソフト事業による 利用日数の増加	都市整備部
	宍道湖を感じる人の割合	%	92	92.5	93	93.5	宍道湖北岸の親水護岸と千鳥南公園の整備を進めている。R7.3には松江市役所前エリアに「水辺ステージ」が完成し、イベント開催などに活用されている。引き続き水辺の利活用を推進することで、宍道湖をより魅力的な場所として、市民や観光客にPRしていく。	毎年+0.5%	政策部